

平成 25 年 12 月 7 日

平成 25 年度地球環境基金助成事業

ちば里山カレッジ実施報告書 (7)

特定非営利活動法人ちば里山センター

テーマ	第7回 里山体験活動 1 「フィールド研修 里山整備作業実習」 森林整備作業実習&チェーンソーを使った伐採作業実習
日時	平成 25 年 12 月 7 日 (土) 9:00~16:00 (バス移動のため ちば里山センター 8:00 集合~17:00 解散)
場所	ちば森林資源コンサーブ (君津市) のフィールド
出席者	受講生 28 名 講師: 千葉県森林組合君津支部 木村 正敏 講師: 千葉県森林組合君津支部 竹ノ内 嗣 講師: 房総森輪会 岡部 正史 アシスタント講師: 房総森輪会スタッフ 佐谷 匡 " 日比 俊一 " 岡部千恵子
内容	ちば里山センターに集合した受講生は、バスで研修地に移動。 研修地では、「山ビールチーム」「けやきチーム」「C 調チーム」の 3 班にわかれ作業実習に取り組んだ。 ① はじめに、ちば森林資源コンサーブの建物近くの広場でチェーンソーの取り扱い方を実習。玉切り、枝払い、間伐のための受け口作りや追い口など全員が練習した。はじめは及び腰だった受講生が真剣に訓練していく過程で目に見えて上達し素晴らしかった。 ② 次にフィールドに出ていよいよ間伐の実習となった。倒す木の前に立ち伐倒方向の指差し呼称から周囲への気配りと合図など講師の方々のご指導を得ながら、立木にチェーンソーを入れていく。木の様子を見ながら倒れる方向を見極め、修正の仕方などを習いながら作業を進めた。大きな木が唸りながら倒れると大きな拍手が沸き起こった。講師の方の言葉「50 年かかって成長した木が切られて倒れるにはそれなりの木の思いがあるんだよ。それを思いながら取り組みなさい。」とのお言葉に感動した。 ③ 伐倒した木は枝払いをし、状態によって 1m から 4m の長さに玉切りし、所定の場所に片付けて終了。 ④ 16 本伐倒した。伐倒未経験者も全身体験した。 ⑤ 午後から、希望者は畑で刈払後の実習。刈払器の扱い方と刈り取った草の処理を行った。この畑には菜の花の種を播くそうで、来春には人々を楽しませてくれることでしょう。 全員無事に帰着。充実した 1 日だった。
備考	各チームは一致団結して作業していて、とても纏まっていた。 日当たりの良いところで昼食をとっていると、フィールドを通り抜けてウォーキングする方々が立ち寄りられて、しばし歓談。地元でボランティアをしている方々で、時々森林ウォーキングを楽しんでいるとのことだった。

添付資料 (写真)



チェーンソー・スイッチ・オン



チェーンソーに慣れる



玉切り訓練



足の位置や力加減



だいぶ“様”になってきた



“かけ”についての説明



“切り口”“追い口”の作り方



いよいよフィールドへ



伐採前には周囲をきれいに



材木にできそうなら4m位にする



“かけ木”になった場合の処理



定められた場所に運んで終了



仮払い機の実習